

## 1. < 施策の概要 >

基本理念	地域の連携による健康・福祉・子育て支援のまちづくり	統括課 民生部 福祉課 (健康福祉環境部 福祉課)
基本方針	地域福祉	
施策名	高齢者支援	関連課
方針・目標等	◆高齢者の社会参加促進。◆在宅介護の重視。◆福祉サービスの充実。◆バリアフリーの推進。	
実施内容	◆要介護高齢者とその家族の自立生活支援。◆認知症のある人とその家族の自立生活支援。◆介護サービス提供体制の確保。◆地域介護支援体制の構築。◆高齢者の社会参加促進。◆介護予防事業。◆世代間交流の促進。◆権利擁護対策の推進。	

## 2. < 指標の設定 >

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績/年度				
①	高齢者人口(65歳以上)	名	木津川市	13,016	22	人口		
②	要介護(支援)認定者	名	木津川市	2,035	22	認定者数		
③	老人クラブ会員数	名	木津川市	5,195	22	会員数		
④	2次予防対象者	名	木津川市	1,557	22	対象者数		
⑤	シルバー人材センター会員数	名	木津川市	449	22	会員数		
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(試算)	H24(試算)
①	目標		5,420	5,760	5,996	6,126	6,145	6,331
	実績		5,420	5,760	5,996	6,126		
②	目標		801	869	912	993	993	1,100
	実績		801	869	912	993		
③	目標		2,354	2,361	2,385	2,361	2,361	2,380
	実績		2,354	2,361	2,385	2,361		
④	目標		211	146	108	191	1,199	1,230
	実績		211	146	108	191		
⑤	目標		322	337	374	390	364	390
	実績		322	337	374	385		

### 3-1. < 指標から読み取れる成果と課題 >

・介護や支援を必要とする方が約1,000名おられる中で約5,000名の方が元気な高齢者と言えるのか、疑問である。

・老人クラブ会員数においても、約半数がクラブ会員ではないのが現状である。それだけに、まだまだ現役の働き盛りと考えている人が多いのか検証する必要性がある。

・また、雇用の面では、シルバー人材センターを中心に、年々、会員数や収益が増え、順調に事業成果が表れている。今後、介護保険利用者と元気高齢者の狭間にいる高齢者に対する事業展開が課題である。

### 3-2. < 住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点 >

・介護予防につながる施策は展開しているものの、情報周知等、十分でないと考えているので、そのニーズ調査を細かく実施分析したいと考える。

4-1. <施策を構成する事業>

	重点	部 門 / 事業名 / 種別 / 決算書説明頁	事業費(人件費含む) / 事業費のみ / 事業費一財 <単位:千円>					
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(予算)	H24(試算)
1	○	福祉課(福祉課)	-	-	11,149	9,897	8,747	8,747
		精華町敬老会	9,354	9,567	9,004	7,871	6,721	6,721
		一般事業 119	-	-	9,004	0	0	0
2	○	福祉課(福祉課)	-	-	12,492	11,765	15,018	15,018
		高齢者居宅生活支援事業	13,981	13,306	8,911	8,311	11,564	11,564
		一般事業 121	-	-	8,911	8,311	10,764	10,764
3	○	福祉課(福祉課)	-	-	248,473	262,900	293,471	293,471
		介護保険事業特別会計繰出金	177,777	193,187	245,683	260,164	290,735	290,735
		一般事業 121	-	-	245,683	260,164	290,735	290,735
4	○	福祉課(福祉課)	-	-	4,380	4,002	3,849	3,849
		高齢者福祉施設整備支援事業	4,596	4,310	4,025	3,739	3,586	3,586
		一般事業 123	-	-	0	0	0	0
5		福祉課(福祉課)	-	-	9,565	9,453	10,071	10,071
		老人ホーム等入所措置	8,733	8,537	8,404	8,392	9,010	9,010
		一般事業 119	-	-	6,883	6,892	7,510	7,510
6		福祉課(福祉課)	-	-	4,411	6,521	6,524	6,524
		老人クラブ助成	3,051	3,051	3,050	3,050	3,053	3,053
		一般事業 119	-	-	984	986	1,018	1,018
7		福祉課(福祉課)	-	-	7,667	7,062	7,062	7,062
		シルバー人材センター運営支援事業	6,320	6,320	6,320	6,320	6,320	6,320
		一般事業 121	-	-	6,320	6,320	6,320	6,320
8		福祉課(福祉課)	-	-	1,922	1,891	2,159	2,159
		介護サービス利用支援事業	150	38	43	32	300	300
		一般事業 121	-	-	25	23	225	225
9								
10								

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・必要に応じた事業運営は最低限できているが、サービス事業の啓発も含めて、まだまだ情報周知が少ないように感じている。今後、高齢者に対する意識改革をするような新しい事業を見出す必要性があると同時に、実態を踏まえたサービス展開を考えていく必要性がある。

5. <施策の今後の方向性>

・高齢者の声に耳を傾け、サービス向上を図る必要性があると感じつつも、今後、増え続ける高齢者人口と町財源が、どうバランスよく運用できるかが検討課題といえる。